

2026年3月期 上期(FY2025 1H) 経営現況報告

2025年11月5日

千代田化工建設株式会社

(証券コード：6366)

AGENDA :

1. 「経営計画2025」上期の状況
2. 遂行中案件の状況
3. 受注の状況
4. 事業共創の拡充 進捗

社会の“かなえたい”を共創する
エンジニアリング
Enriching Society through Engineering Value

1.「経営計画2025」上期の状況

中期経営計画「経営計画2025」 2025年度上期の状況

定量目標、重点取組ともに概ね順調な滑り出し

定量目標		純利益150億円（3年平均）に向け、受注高、完工高とも計画を上回る推移
重点取組	海外既存大型プロジェクトの着実な遂行	・ゴールデンパスLNG：第2/第3系列契約調印の最終段階 ・カタル NFE：設計・調達は終盤に入り、建設工事が進行中  P5
	海外プロジェクト取り組み改革（受注方針）	中東においてリスク抑制を講じた中規模案件を受注
	国内プロジェクトの収益拡大	西部ガス(株)向けひびきLNG基地をはじめとした複数案件を受注  P6
	事業共創の拡充	植物バイオファウンドリ事業の立ち上げや細胞/再生医療分野への進出で事業開発に向けた基盤構築が進む  P12
	分厚い中核人財層の形成	成長加速をより意識した国内外・組織横断ローテーションを推進

2. 遂行中案件の状況

第2/第3系列契約改定は、6月の基本合意から契約調印の最終段階へ 調印後、契約内容を踏まえて速やかに採算の見直しを実施予定

Golden Pass LNG Export Project



Courtesy of Golden Pass LNG



- **顧客名**
Golden Pass LNG Terminal, LLC
< QatarEnergy 70%, ExxonMobil 30%のJV >
- **プロジェクト総額 / 当社契約額（受注時）**
約1兆円 / 約3,000億円
- **建設地**
Sabine Pass, Texas, USA
- **スコープ**
液化天然ガス（LNG）年産520万トン×3Trainの
LNGプラントおよび付帯設備のEPC業務

これまでの経緯 と 今後の見通し

2024年
5月

- Zachry社(旧JVパートナー)が米国連邦破産法第11章 (Chapter11)を申請。
- 2023年度決算確定のため、プロジェクト遂行に必要な費用を最大限考慮し、▲**370億円**の費用を計上。

2024年
11月

- 新JV体制下での第1系列の契約改定完了。採算見直しにより、第3四半期で約**30億円**の利益計上。
- 残る第2/第3系列の契約改定交渉を継続。

2025
年度

- 2025年6月、第2/第3系列の契約改定につき、顧客と基本合意。
- 上記契約調印の最終段階。
- 調印後、契約内容を踏まえて速やかに採算の見直しを実施予定。

複数の国内プロジェクト受注で収益拡大へ

ひびきLNG基地の受注・遂行



ひびきLNG基地の完成予想図（出典：西部ガス株式会社）

- ✓ 西部ガス(株)から ひびきLNG基地の能力増強に関するEPC業務を受注（2025年3月）。
- ✓ 新たにLNGタンク1基を増設、能力増強とし、カーボンニュートラルに向けた取り組みの一環となる。
- ✓ 国内プロジェクトの収益拡大へ貢献。

太陽石油(株)向け 沖縄事業所SAF^{*1}製造設備 FEED^{*2}業務を受注



建設予定地 太陽石油沖縄事業所（提供：太陽石油）

- ✓ 太陽石油(株)が、Ethanol To Jet（ETJ）技術^{*3}を活用し、年間20万キロリットルのSAFおよびRD（リニューアブルディーゼル）の供給開始を目指すプロジェクト。
- ✓ 当社の石油プラント建設等を中心とした技術力及び経験を活かし、SAF製造設備の確実な実装と航空燃料の脱炭素化に取り組む。

*1：持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel）

*2：Front End Engineering Designの略。プラントの基本計画、基本設計、機器の仕様を決めるまでのエンジニアリング業務。

*3：エタノールを原料にSAFを製造するプロセス。SAFの国際規格「ASTM 規格D7566 Annex 5」として認証されている。

主要遂行中案件の状況

◆主要遂行中案件一覧

受注残高	案件	国・地域	受注時期	プロジェクトの状況
1,000億円以上	NFE LNG	カタール	FY2020/Q4	・一時的な地政学リスクの高まりはあったものの、 工事は概ね順調に進捗
500億円以上	ゴールデンパス LNG	米国	FY2018/Q4	・P5参照
	石油・石油化学 関係EPC	中東	FY2025/Q1	・プロジェクト開始。設計・調達業務に着手
100億円以上	先端素材 生産設備	日本	FY2023/Q3	・設計、調達は最終盤 ・建設も計画に沿って進捗
	LNG 受入設備	日本	FY2024/Q4	・設計作業を開始
	硫化リチウム 大型製造装置	日本	FY2024/Q4	・設計は6割程度の進捗
	バイオ医薬品 原薬製造設備	日本	FY2023/Q4	・設計、調達は最終盤

◆遂行スケジュール※

FY2025	FY2026	FY2027
		
契約調印に向けて最終段階		
詳細非開示		
		
		
		
		

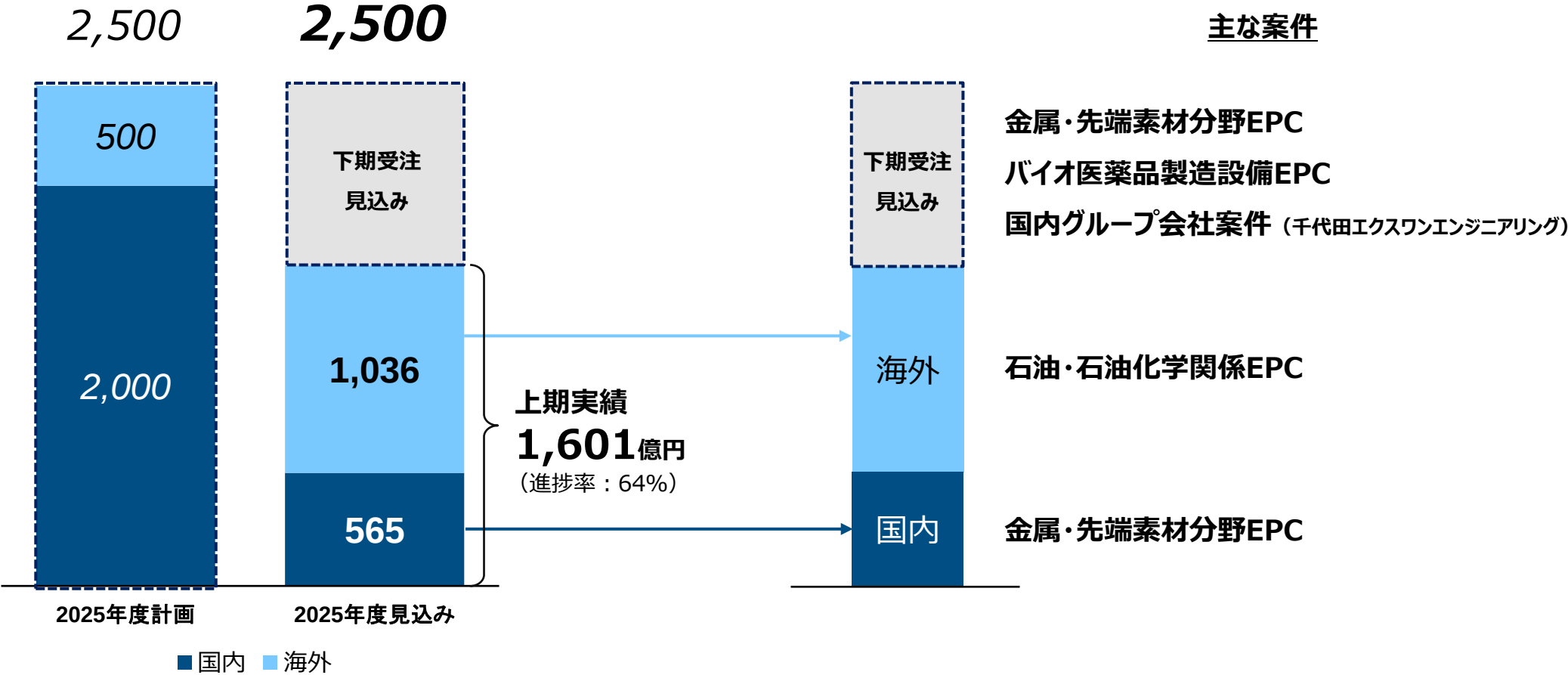
※現時点における見通しおよび計画に基づく予測であり、実際のスケジュールは様々な不確定要因により変動する可能性があります。

3. 受注の状況

受注の状況

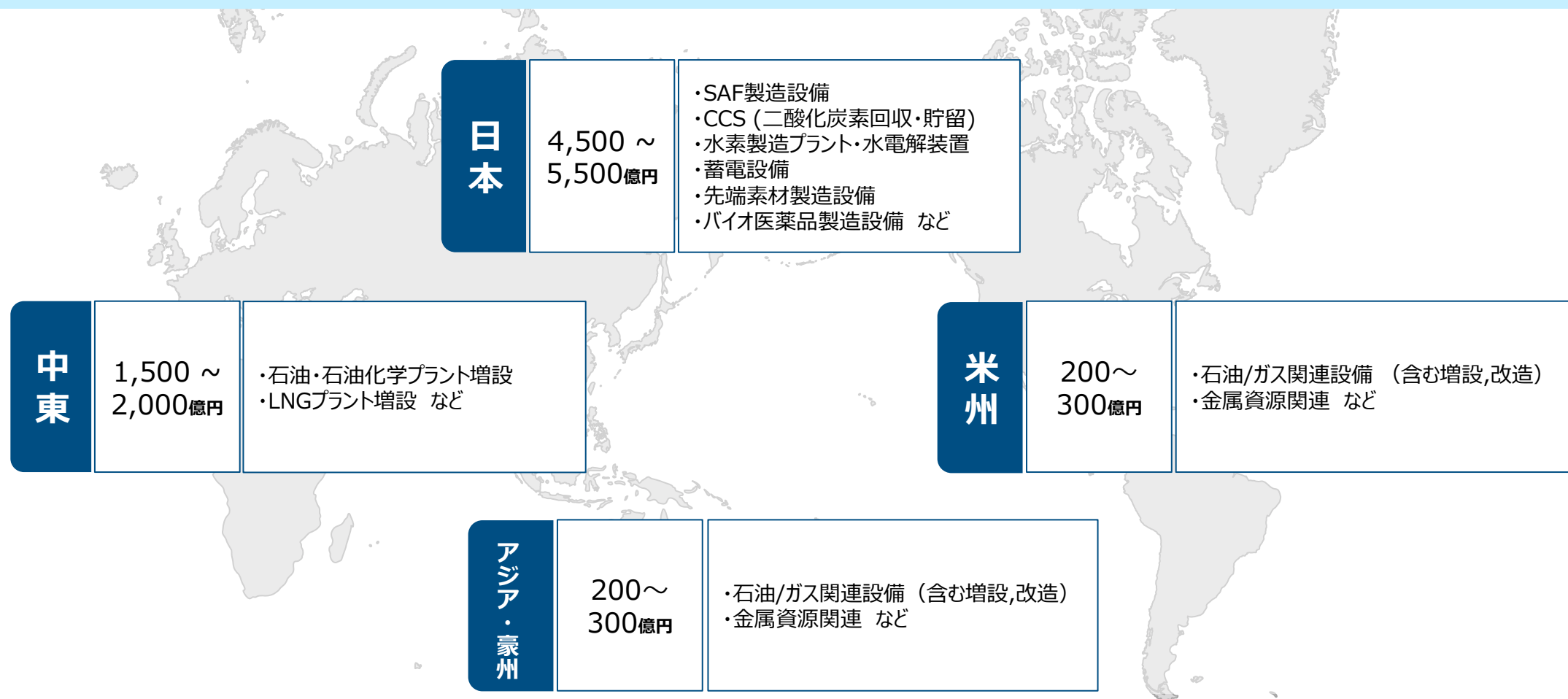
本年上期において受注目標額を上回るペースで進捗
下期は国内で金属・先端素材分野、ライフサイエンス分野のEPC案件の受注を見込む

単位：億円



主な受注ターゲット

「経営計画2025」の受注計画9,500億円達成に向けた主なターゲット※



※FY2027までの受注獲得に向け千代田化工建設グループで取り組んでいる主な案件
※2025年度上期までに受注計上した案件は集計対象から除く

4. 事業共創の拡充 進捗

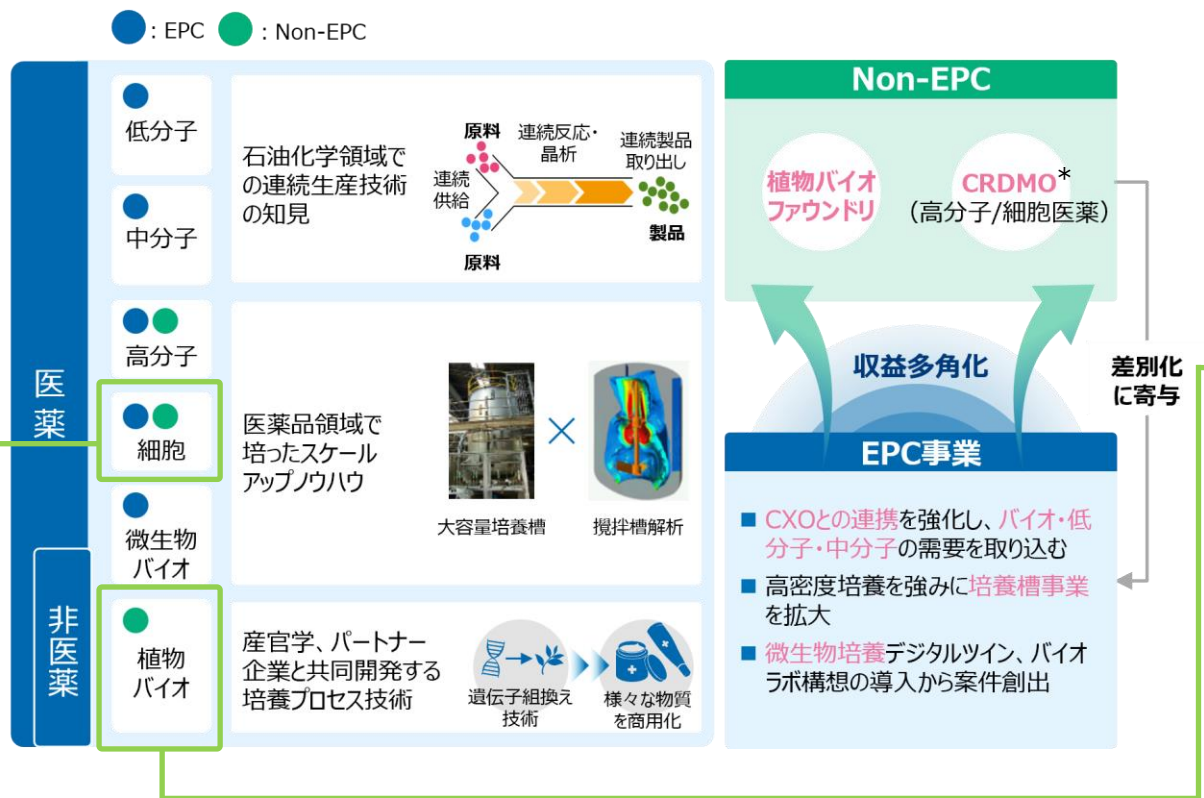
事業共創の拡充 進捗

ライフサイエンス分野において、細胞医療事業への進出、植物バイオ関連の共創など、事業開発に向けた基盤構築が進む



- iPS細胞由来免疫細胞の安定的かつ効率的な製造工程・技術の確立に関する共同研究を開始
- 筑波大学附属病院内に設置した細胞培養加工施設（名称：TACT「Tsukuba Advanced Cell Therapy Facility」）を活用した伴走型技術コンサルテーション案件

医療・ライフサイエンス分野における事業戦略(「経営計画2025」より引用)



植物バイオ実証設備の植物栽培室

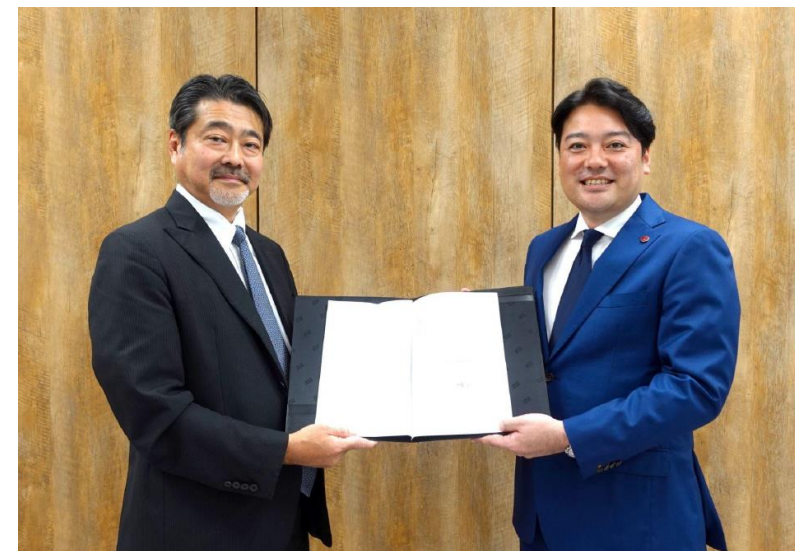
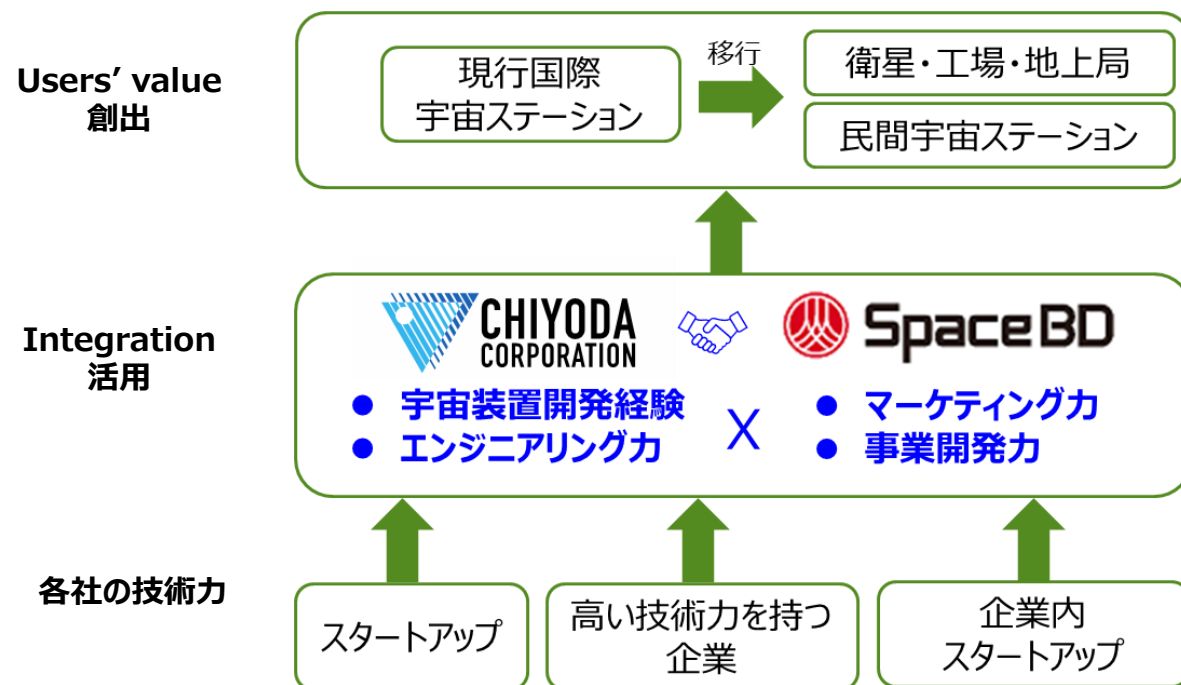
- 2022年度よりNEDO開発プロジェクトとして産学連携で取り組んだ「植物による高度修飾タンパク質の大量生産技術の開発」の一環で、当社子安オフィス・リサーチパーク内に実証設備を建設し、2025年6月に稼働開始
- 今後、様々な企業の実用化開発をサポートする国内初の「植物バイオファウンドリ」として機能させる予定
- バイオものづくり分野での社会実装に貢献する方針

* CRDMO: Contract Research, Development and Manufacturing Organization(受託研究開発製造)

事業共創の拡充 進捗

宇宙事業の機会拡大へ向けた Space BD(株)との宇宙ビジネスにおける事業提携開始

- ✓ 宇宙商業利用分野での日本の国際競争力向上と宇宙環境利用の普及拡大を目指した協業
- ✓ 宇宙インフラの開発、商業宇宙ビジネスの推進、サステナビリティへの貢献を強化
- ✓ 両社で新たな事業機会を創出し、グローバルな宇宙市場の成長に向けて、積極的な関与を目指す



当社 執行役員 伊藤 利之（左）、Space BD 代表取締役社長 永崎 将利（右）

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

E-Mail : ir@chiyodacorp.com



© Chiyoda Corporation 2025, All Rights Reserved.

